

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し(間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は植物の発芽について学びました。

植物の種子が発芽する条件は3つあり、水、空気、適当な温度です。この3つは非常に重要なので必ず覚えましょう。

植物の発芽する条件を調べていくときに必要な実験が対照実験となります。対照実験では確かめたい条件以外はすべて同じ条件にしなければなりません。例えば、水、空気、適当な温度、日光、肥料をそろえた条件のもと種子をまいてみると発芽したが、水、空気、日光、肥料をそろえた条件のもと種子をまいてみると発芽しなかったとしたら、適当な温度が発芽には必要であることが分かります。もし後半の条件を、水、空気、肥料という条件で比べてしまったら、適当な温度がないことによって発芽しなかったのか、日光がないことによって発芽しなかったのか判別が付きません。1つだけ条件を変えて比べていくことが重要となります。

問題を解く際には、それぞれの実験の条件を表にまとめるようにし、どの条件が違うのかを表で確認していくようにしましょう。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの書き込み教科書に取り組む	
③ 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
④ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は、「水産業1」で、漁港名や魚の種類について学びました。

みなさんは魚が好きですか日本は海に囲まれた島国で、畜産業があまり発達していなかったことから、漁業を行い、魚介類から動物性たんぱく質を得ていました。今でこそ刺身やお寿司は世界的に食べられていますが、もともと魚介類を生で食べるのは日本ならではの食文化で、最初のころは、外国の人からは受け入れられなかったといえます。日本人の生活の中で、魚介類は欠かせないものとなっています。

さて、今回の内容では、まずは漁獲量の多い漁港を覚えましょう。そして、その際にはなぜそこに漁港があるのかという理由にも目を向けましょう。日本の周辺には、潮目や大陸棚といった好漁場があります。たくさん魚がとれるからこそ漁港ができるのです。なぜそこで農作物が作られているのかを地形や気候と結びつけて考えるのと同じです。このように、ただ覚えるだけでなく背景を考えながら覚えてほしいと思います。

また、魚の種類については、少なくともテキストにある魚の写真は、魚の名前を言えるようにしておきたいです。入試では決して多くはありませんが、出題もあります。スーパーなどで実物を見るのもよいでしょう。どれくらいの大きさなのかもわかるとと思います。